

目次

◆巻頭言 青函トンネルの開業 .....向井軍治/1

◆青函トンネル開業小特集

青函トンネルの計画から完成まで.....下河内穂修/3  
越智

青函トンネル工事の特徴 .....吉野達夫/10

青函トンネル工事で使用した主な施工機械 .....飯田威夫/17

おおつる青土ダムの計画と施工 .....大迫修/22

信濃川発電所水路トンネル(山本工区) .....川名英二/30  
における ECL 工法による施工 .....馬場恒夫

テクソル工法の導入と専用施工機の開発 .....堀家茂一/35

◆随想 千葉都市モノレールの開業 .....渡辺茂/40

2枚ブレード付除雪グレーダの開発と施工 .....丸山幹雄/42  
羽上賀村弘

発破騒音, 振動を軽減する  
トンネル掘削の研究(1) .....三谷健/49

◀表紙写真説明▶

トラッククレーン TG-1600 M

株式会社 多田野鉄工所

本機は 160t×3.3m, 58t×10m のつり上げ性能を有する分解・台車方式(公道走行時)の超大型トラッククレーンである。

① ブームホルダスライド方式を採用。高揚程作業時はホルダでベースブームを前方にスライドさせ 17.5~50m ブームとし、また広い作業半径を必要とする時は、後方にスライドさせ 12.5~45m ブームとして使用することにより半径作業と重量物高揚程作業を両立させた。

② 38m 無段階チルトのラフィングジブ(オプション)を装着することにより、最大作業半径 48m, 最高地上揚程 80m と広範囲の作業に威力を発揮する。

③ 分解作業はタダノ独自のホルダ方式と油圧パイオネット方式により短時間, 少人数で, しかも他のクレーンを使用することなく自力で行える。

◀主な仕様▶

|          |                       |
|----------|-----------------------|
| クレーン容量   | 160,000kg×3.3m (20本脚) |
| 最大地上揚程   | ブーム.....51.0m         |
|          | ジブ.....78.0m          |
| 最大作業半径   | ブーム.....44.0m         |
|          | ジブ.....62.0m          |
| エンジン最高出力 | 250PS/1,800rpm        |

グラビヤ——昭和62年度 除雪機械展示\*実演会

昭和62年度 除雪機械展示・  
実演会(富山)見聞記 .....相原正之/55

建設省宮ヶ瀬ダム見学記 .....技術部会/58  
骨材生産委員会

◆新工法紹介

耐火被覆吹付ロボット工法/外壁自動吹付け工法.....調査部会/61

◆新機種ニュース.....調査部会/63

◆文献調査

ホームステーク鉤のオープンカットプロジェクトに  
関する埋蔵量計算, 採鉤砕石法について.....文献調査委員会/68

◆ISO 規格紹介

土工機械に関する ISO 規格(30).....ISO 部会/69

◆統計

建設工事受注額・建設機械受注額の推移.....調査部会/73

行事一覧 ...../74

編集後記 .....(藤崎・森谷)/76